

## 第136回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：令和6年1月23日（火）15：00～15：06
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。

早速、議題「大熊町・特定帰還居住区域復興再生計画の変更について」、避難地域復興局長。

### 【避難地域復興局長】

大熊町の「特定帰還居住区域復興再生計画」の変更について、1月18日付で大熊町から「福島復興再生特別措置法」に基づく県への協議がありましたので、その内容についてお諮りいたします。

大熊町の「特定帰還居住区域復興再生計画」につきましては、昨年9月に先行除染箇所について国の認定を受け、12月から除染が開始されております。今回は、町全域において特定帰還居住区域を設定するための計画変更となります。

資料1の2ページの区域図を御覧ください。区域につきましては、赤に着色された範囲となっております。既に国の認定を受けております下野上1区に加え、帰還困難区域のうち中間貯蔵施設の区域や特定復興再生拠点区域を除く町全域において、帰還意向のある方々の自宅や道路を始め、インフラの復旧・整備や住民の方々が日常生活を営むために必要な施設を中心として、特定帰還居住区域が設定されております。

3ページを御覧ください。計画の意義・目標及び計画の期間につきましては、変更はございません。4の特定帰還居住区域の整備等につきましては、「特定帰還居住区域外とのアクセスの確保」の1行目に記載の県道391号（広野小高線）を始め、新たに設定する区域のインフラ整備や、「特定帰還居住区域内の整備の概要」の3ポツ目にあるとおり、農業水利施設に係る記載が追加されております。

4ページを御覧ください。除染や廃棄物の処理につきましては、変更はございません。7のその他の事項につきましては、「生活関連サービス、防犯・防災等」の2ポツ目にあるとおり、今後、県が下野上地区に整備を予定している

中核的病院に係る記載が追加されております。

本会議で御了承いただければ、資料2のとおり、当該計画の変更について「異議なし」として、本日付で大熊町に回答したいと考えております。

国による認定後は、大熊町や国と共に、避難指示の解除に向けてしっかりと取り組んでまいりますので、関係部局の御協力をよろしくお願いいたします。説明は以上です。

**【鈴木副知事】**

今の説明に関して、農林水産部。

**【農林水産部】**

本計画に新たに位置付けられました農業水利施設については、今後、営農再開するために必要な施設であり、ため池等の放射性物質対策を始め、水路等の復旧・整備について、国や町と連携しながら推進してまいります。

農林水産部といたしましては、本計画に位置付けられる特定帰還居住区域を始め、大熊町の農業の復興・再生に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

**【鈴木副知事】**

土木部。

**【土木部政策監】**

本計画に位置付けられました県道391号（広野小高線）の熊川工区の整備を推進してまいります。

また、特定復興再生拠点区域や周辺の市町村等へのアクセス道路となる国道288号や県道251号（小良ヶ浜野上線）等の適切な維持管理等を行ってまいります。

土木部といたしましては、大熊町の復興に必要なインフラの整備や維持管理について、国や町と連携しながら、しっかりと取り組んでまいります。

**【鈴木副知事】**

病院局。

### 【病院局長】

本計画の中に「中核的病院の活用」が新たに盛り込まれております。中核的病院については、双葉地域の医療提供体制の中核を担う病院として、大野病院が立地する下野上地区に県が整備を予定しています。

病院局といたしましては、大熊町と連携しながら、中核的病院の速やかな整備に取り組み、双葉地域の復興を医療の面からしっかり支えてまいります。

### 【鈴木副知事】

ほかにありますか。

無ければ、大熊町の計画変更案につきましては、「異議なし」として回答することといたします。

知事からお願いいたします。

### 【知事】

今回協議がありました特定帰還居住区域復興再生計画の変更によって、大熊町の特定帰還居住区域が町全域に拡大することとなります。

大熊町においては、令和4年6月に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、インフラや生活環境の整備も少しずつではありますが進展しています。

また、昨年9月に国から認定されました下野上1区の特定帰還居住区域では、12月から除染が開始されるなど、町の復興は着実に前へと進んでいます。

こうした中、今回の計画変更による特定帰還居住区域の拡大は、大熊町の復興・再生に向け、更なる前進につながるものです。国には、速やかに計画の変更を認定いただき、早期の避難指示解除が実現できるよう責任を持って取り組んでいただきたいと思います。

引き続き、全庁一丸となって、福島復興再生計画の取組を着実に進め、帰還意向のある全ての方々が一日も早く帰還できるよう、国、町と連携しながら取り組んでください。

### 【鈴木副知事】

以上で新生ふくしま復興推進本部会議を終わります。